

播磨 まちかどニュース

With いなみ野学園



兵庫県いなみ野学園では、大学院生などの受講生が自主制作として、地元ケーブルテレビ局「BAN-BANテレビ」と協働し、テレビ番組「播磨まちかどニュース With いなみ野学園」を制作しています。学園内外の魅力的な活動を映像で紹介する15分の番組です。瓦版では、これまでの配信動画の内容を紹介しています。

★★最新の配信動画★★

現在、いなみ野学園ホームページに掲載している動画をご紹介します。

播磨まちかどニュース with いなみ野学園 98 ◆配信日：令和7年5月1日◆

令和7年度入学式と桜だより…！



花冷えとは言え、快晴の朝。学園のシンボル枝垂桜もキレイに咲いて、新入生を迎え入れてくれる。4月4日(金)、いなみ野学園の「入学式」がありました。



年は取っていても新入生。気持ちはウキウキとして「さあ、始まるぞ!」と、そんな前向きな様子が伝わってきました。新しいスタートは、前へ進むモチベーションとなり大きな一歩を踏み出せたことでしょう。



10時、大講堂で令和7年度の「入学式」が始まりました。神足(こうたり)孝明副学園長の司会進行で

「国歌斉唱」に続いて、橋本正人(まさひと)生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長の「入学許可」があり、続いて学園長の「式辞」でした。

学園長は、学園生活を送る上での3つのお願いとして、「一つ、年齢、経歴、地位など一切関係せず、互いに尊重し合う対等な関係で交流して欲しいこと。一つ、クラブ活動や自治会活動にも積極的に参加して、新しいことへも挑戦して欲しいこと。一つ、学園で学んだことを地域でも活かして欲しいこと」と話されました。



続いて、服部洋平兵庫県副知事の「挨拶」です。

服部副知事は、「地域を元気にする取り組みは万博だけでない。みなさん方が学園で学び、研鑽し、元気に活躍されて、地域のリーダーとして牽引して欲しいです」と話されました。

みは万博だけでない。みなさん方が学園で学び、研鑽し、元気に活躍されて、地域のリーダーとして牽引して欲しいです」と話されました。



最後に、来賓を代表して高橋光男参議院議員から挨拶がありました。

高橋議員は、「人生100年時代。学びは若い世代だけではない。人生

経験を重ねられてきたみなさんに、リカレント教育、つまり学び直しを社会に示す模範となしてほしいです」と話されました。

「来賓祝辞」の後、「来賓紹介」、「祝電披露」と続きました。そして、「学園の先生方の紹介」があり、いよいよ式の最後です。



在校生を代表して、毛利修三大学院自治会会長が「歓迎のことば」を述べました。毛利会長は、「学園での学びは、未来を彩り、人生の幅を広げてくれる。学園生活を存分に楽し

んでほしい」と話されました。

それを受けて、入学生を代表して陶芸学科の池沢弘子さんが「喜びのことば」で応えました。池沢さんは、「仲間との輪を広げ、学園生活を楽しまたい。地域で活かせるように努力したい」と応えられました。

式の締めくくりとして、コーラスクラブのみなさんが「学園歌」や「糸」を熱唱して、新入生を歓迎しました。「縦の糸はあなた、横の糸はわたし」、同じように「縦の糸は新入生、横の糸は在校生」、共に手を携えていなみ野学園を紡いでいきたいと思います、心からのエール



を送って「入学式」が終了しました。

式のあと、今年から文化学科担当の伊藤淳（あつし）先生にインタビューしました。伊藤先生は、「気持ち若い方ばかりで私が負けなようにがんばりたい。私も一緒に勉強していきたい」と話されました。

大学生 268 名、大学院生 43 名、計 311 名のみなさんがいなみ野学園生として一緒に活動していきます。勉学に勤しみ、クラブにも積極的に関わり、仲間と交流して、楽しい学園生活を送って行って欲しいと思います。共にがんばりましょう。そして一句、「歴史ある学園で 生涯の友を得 高齢の日々を楽しもう」、そうです、楽しみましょう。



最後は、播磨地域の「桜だより」も。満開の桜の紹介がありました。

(ナレーション 大前小夜子)

橋本正人 いなみ野学園長 就任挨拶



今年度、新しく就任されました橋本正人（まさひと）生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長の就任「あいさつ」の模様をお届けします。

次のような順で話が進みました。

ア、自己紹介から

県職員として、1回目は、平成8・9年に地域リーダー養成やリカレント教育、高齢者大学などの多様な学びを総合調整する仕事に関わっていたこと。2回目は、平成29・30年に生涯学習局長としていなみ野学園の入学式や卒業式に出席させてもらったこと。また、阪神シニアカレッジの学舎の整備に関わったこと。3回目は、今年度から生きがい創造協会理事長、そしていなみ野学園学園長として関わる機会を得たこと。以上からも、学びに携わることができ、学びの手伝いをしながら成長できれば。

イ、いなみ野学園について

全国初の高齢者大学として、学園を卒業された方は2万5千人を超え、今年度の学園生は、大学生、大学院生、研究生で1千人ほど。いなみ野学園は生涯に亘る学びの場所として、50年以上の歴史と伝統のある高齢者大学、一緒に学びましょう。

ウ、佐藤一斎の言葉から

「少にして学べば 即ち壮にして 為すことあり 壮にして学べば 即ち老いて衰えず 老いて学べば 即ち死して朽ちず」、これは小泉総理が教育関連法案時に述べられた言葉で



世に知られるようになったこと。少年で学べば、大人になって役立ち、何かできる。大人になって学べば、年がいったからでも活力は衰えない。年がいったから学べば、見識も広がり社会に役に立つ、死んでも朽ちることがない。エ、いなみ野学園で学ぶこと



関心のあること、めざすことを、知ろう、やってみよう。一番に楽しむことです。それが達成された時の満足感、達成感は何物にも代えがたいもの。自主的に関心あることを学び、活動してほしい。一人では大変だが、一緒に学ぶことで刺激を受け、見方も変わり、発想も広がる。そういう中から友もできる。年齢も忘れて若くなっていく。学び続けることで生き生きとした姿を発信してほしいです。



オ、いなみ野学園の3つの自慢は
一つ、充実した講座 一つ、多様なクラブ活動 一つ、自然豊かな学園キャンパスの3つ。



先輩のみなさんは、プレイバックしてキャンパスライフを楽しんでいること。
カ、3つのお願い



一つ、経歴、地位、性別、年齢などに捉われず、対等な関係で互いに関わって欲しいこと
一つ、クラブ・自治会活動への積極的に参加し、チャレンジして欲しいこと 一つ、学んだことを地域社会へ還元して欲しいこと

以上のような話をされました。

最後に、いなみ野学園では他にも「短期集中講座」など、身近でホットな話題の公開講座も開設します。是非、これらの講座へもご参加をお願いします。

新年度がスタートして2ヶ月足らず。橋本新学園長のもと、新たな令和7年度の取り組みが始まっています。どうぞ、今年度もよろしくお願いいたします。

(ナレーション 吉川 千代子)



4年間基礎から体系的に習得できる様々な講座。そして41ものクラブや同好会もあり、積極的に参加をして欲しい。四季折々の草花・樹木が咲く広い園内には木造平屋の学舎が。

【いなみ野学園 動画配信ホームページ】

https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/video/video_inamino_summary.html

《編集・発行》

兵庫県いなみ野学園 ビデオ制作委員会 (いなみ野学園大学院講座・研究生) ☎ 079-424-3380

